

会 議 要 旨

会 議 の 名 称	平成30年度 第2回川越市文化財保護審議会	
開 催 日 時	平成30年8月17日(金) 14時 開会 ・ 16時30分 閉会	
開 催 場 所	川越市立博物館 会議室	
議 長 (会 長)	山野会長	
出席委員(人数)	大久根委員、小久保委員、酒井委員、佐藤委員、馬場委員、 林委員、牧野委員、松尾副会長、水上委員、山野会長 (10名)	
欠席委員(人数)	羽生委員 (1名)	
傍 聴 者	0名	
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 4 会議の傍聴について 5 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 前回の会議について (2) 蔵造り資料館耐震化工事について (3) 山王塚古墳見学会について (4) 川越氷川祭神幸祭の日程・供奉等について (5) 河越流鏝馬の実施について (6) 文化財修理(松平大和守廟所・三芳野神社)について (7) 田口家調査について (8) 薬師神社(幸町)の整備について (9) 文化財調査について 6 次回の予定 7 その他 8 閉会 	
そ の 他	4(2)担当課 博物館	

議事の経過

報告(1) 前回の会議について

(事務局より説明)

報告(2) 蔵造り資料館耐震化工事について

(博物館より説明) 工事の進捗状況は、店蔵と添屋で主な耐震補強の鉄骨の設置が完了した。解体により梁・小舞の腐朽や、玉石などの地下構造物が発見された。梁の腐朽に対応するため中柱の補強方法を検討している。今回の工事では耐震補強では復原はしないが痕跡調査を行っており、将来復原する際の資料になる古写真を集めているのでご協力をお願いしたい。

【意見・質疑応答】

○腐朽は特別な理由によるものか。

(回答：博物館) 土蔵造りのためではあるが、店蔵と添屋の間が狭く湿気がたまったことと、指定以前にモルタルで修理を行っている影響がある。

○他の蔵造りの持ち主に工事で判明したことなどを知らせる予定はあるか。

(回答) 工事の結果を報告書にまとめてお知らせしたい。

報告(3) 山王塚古墳見学会について

(事務局より説明) 9月29日に現地見学会を実施し、昨年度の発掘成果を説明する。

報告(4) 川越氷川祭神幸祭の日程・供奉等について

(事務局より説明) 10月20日に神幸祭を実施し、6台が供奉する予定。

報告(5) 河越流鏝馬の実施について

(事務局より説明) 11月17日に実施予定で河越流鏝馬実行委員会を発足して準備している。

【意見・質疑応答】

○河越館跡で流鏝馬を行ったという文献はなく、鎌倉時代の神事としての流鏝馬は館内で行わないはずだ。河越館跡の活用としてどうなのか考えてもらいたい。

○今後の河越館跡についてどのような方向で考えているか。

(回答) 第2・3期整備地の用地取得に向けて進めている。用地取得後に発掘調査など行い、整備方法について河越館跡整備検討委員会に諮って検討したいと考えている。

報告(6) 文化財修理(松平大和守廟所・三芳野神社)について

(事務局より説明) 松平大和守家廟所は、廟所の門、大谷石の塀の修理、家臣団石灯籠等の整備を行い、年度内に完了する予定である。三芳野神社は社殿内外の漆、彩色及び飾り金具の工事等に行っている。拝殿周りの雨落ち石と石段にずれが生じているため、一度全て外して石段と合わせて組みなおす。それに合わせて2週間ほど確認調査を行う。

報告(7) 田口家調査について

(事務局より説明) 7月に2日かけて調査を行い、現在図面を作成している。

報告(8) 薬師神社(幸町)の整備について

(事務局より説明) 時の鐘耐震化工事で出土した受玉石などを薬師神社の奥の空き地に整備する計画で、時の鐘と同じ大きさに玉石を配置し案内板を立てる。年内完成の予定である。

報告(9) 文化財調査について

(事務局より説明後、調査担当委員の説明) 所有者から依頼を受けて1件調査を行った。また、調査した結果、指定の方向となっている無形民俗については保存団体に意向確認をしている。